



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年1月28日

上場会社名 株式会社 青森銀行
 コード番号 8342 URL <https://www.a-bank.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 成田 晋

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総合企画部長 (氏名) 木立 晋

TEL 017-777-1111

四半期報告書提出予定日 2020年2月7日 特定取引勘定設置の有無 無

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て、小数点1位未満は切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	31,681	4.5	3,398	23.0	2,424	18.9
2019年3月期第3四半期	33,201	0.4	4,418	12.0	2,990	21.8

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 3,202百万円 (%) 2019年3月期第3四半期 2,094百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	119.56	
2019年3月期第3四半期	147.20	146.99

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	3,205,434	122,189	3.8
2019年3月期	3,043,392	120,125	3.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 122,189百万円 2019年3月期 120,125百万円

(注) 「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部合計で除して算出しております。
 なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		30.00		30.00	60.00
2020年3月期		30.00			
2020年3月期(予想)				30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,800	3.2	3,200	0.5	157.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	20,512,161 株	2019年3月期	20,512,161 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	222,864 株	2019年3月期	246,779 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	20,280,312 株	2019年3月期3Q	20,315,398 株

(注) 期末自己株式数には、BIP信託が保有する当行株式数(2020年3月期3Q94千株、2019年3月期119千株)を含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

【添付資料】

目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
4. 補足情報	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期(2019年4月1日~2019年12月31日)の経営成績につきましては、以下のとおりとなりました。

経常収益は、貸出金利息や有価証券利息配当金の減少に加え、貸倒引当金戻入益の剥落により、前年同期比15億20百万円減収の316億81百万円となりました。また経常費用は、有価証券関係損失の減少等により、前年同期比5億円減少の282億83百万円となりました。

この結果、経常利益は前年同期比10億20百万円減益の33億98百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益についても、前年同期比5億66百万円減益の24億24百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期における財政状態につきまして、総資産は前連結会計年度末比1,620億円増加し3兆2,054億円、純資産は前連結会計年度末比20億円増加し1,221億円となりました。

譲渡性預金を含めた総預金は、個人預金及び法人預金の増加等により、前連結会計年度末比375億円増加し2兆6,418億円となりました。

貸出金は、県内一般法人向け貸出および個人ローンは増加したものの、公共貸出の減少により、前連結会計年度末比70億円減少し1兆7,420億円となりました。

有価証券は、前連結会計年度末比293億円増加し8,480億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

2019年5月15日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
現金預け金	381,730	470,578
コールローン及び買入手形	—	35,000
買入金銭債権	2,555	2,862
金銭の信託	—	9,992
有価証券	818,744	848,046
貸出金	1,749,075	1,742,030
外国為替	1,359	1,484
リース債権及びリース投資資産	14,647	15,743
その他資産	40,773	44,503
有形固定資産	21,242	21,629
無形固定資産	1,883	1,742
退職給付に係る資産	2,835	2,962
繰延税金資産	462	479
支払承諾見返	16,154	16,603
貸倒引当金	△8,065	△8,222
投資損失引当金	△7	△3
資産の部合計	3,043,392	3,205,434
負債の部		
預金	2,429,851	2,436,679
譲渡性預金	174,466	205,148
コールマネー及び売渡手形	13,793	62,266
債券貸借取引受入担保金	1,629	66,975
借入金	267,334	273,830
外国為替	59	26
その他負債	13,752	15,676
賞与引当金	611	5
役員賞与引当金	14	20
退職給付に係る負債	186	233
役員退職慰労引当金	14	13
株式給付引当金	176	119
睡眠預金払戻損失引当金	528	564
繰延税金負債	3,135	3,528
再評価に係る繰延税金負債	1,557	1,553
支払承諾	16,154	16,603
負債の部合計	2,923,266	3,083,245

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
資本金	19,562	19,562
資本剰余金	12,916	12,916
利益剰余金	72,038	73,121
自己株式	△875	△791
株主資本合計	103,641	104,808
その他有価証券評価差額金	16,242	17,181
繰延ヘッジ損益	△1,881	△2,232
土地再評価差額金	2,356	2,475
退職給付に係る調整累計額	△234	△44
その他の包括利益累計額合計	16,483	17,380
純資産の部合計	120,125	122,189
負債及び純資産の部合計	3,043,392	3,205,434

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
経常収益	33,201	31,681
資金運用収益	18,793	18,029
(うち貸出金利息)	13,146	12,558
(うち有価証券利息配当金)	5,631	5,448
役務取引等収益	4,674	4,584
その他業務収益	465	201
その他経常収益	9,268	8,867
経常費用	28,783	28,283
資金調達費用	703	631
(うち預金利息)	477	295
役務取引等費用	1,959	1,996
その他業務費用	870	307
営業経費	17,143	16,934
その他経常費用	8,106	8,414
経常利益	4,418	3,398
特別利益	141	1
固定資産処分益	18	1
新株予約権戻入益	122	—
特別損失	391	159
固定資産処分損	161	74
減損損失	81	84
株式給付引当金繰入額	149	—
税金等調整前四半期純利益	4,168	3,240
法人税、住民税及び事業税	567	788
法人税等調整額	610	26
法人税等合計	1,178	815
四半期純利益	2,990	2,424
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,990	2,424

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
四半期純利益	2,990	2,424
その他の包括利益	△5,085	777
その他有価証券評価差額金	△4,522	938
繰延ヘッジ損益	△746	△351
土地再評価差額金	1	—
退職給付に係る調整額	182	190
四半期包括利益	△2,094	3,202
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,094	3,202

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。
- (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

4. 補足情報

当行の2020年3月期第3四半期決算の概要は以下のとおりであります。

(1) 損益の状況（単体）

◎実質業務純益は、資金利益の減少を要因として、前年同期比△4億25百万円減益の28億58百万円（通期予想比95.2%）となりました。
 ◎経常利益は、株式等関係損益が増加したものの、実質業務純益の減益及び与信費用の増加により、前年同期比△10億21百万円減益の30億82百万円（通期予想比71.6%）、四半期純利益は、前年同期比△5億64百万円減益の23億66百万円（同78.8%）となりました。

（単位：百万円）

	2020年3月期 第3四半期 (9ヵ月累計) (A)	2019年3月期 第3四半期 (9ヵ月累計) (B)	前年 同四半期比 (A)-(B)	2020年3月期 通期予想値
経常収益	24,440	26,133	△ 1,693	
業務粗利益	19,991	20,627	△ 636	
(除く国債等債券損益)(コア業務粗利益)	20,122	21,081	△ 959	
資金利益	17,816	18,620	△ 804	
役務取引等利益	2,280	2,412	△ 132	
その他業務利益	△ 106	△ 405	299	
(うち国債等債券損益)	△ 131	△ 453	322	
経費(除く臨時処理分)	17,132	17,343	△ 211	
人件費	8,862	9,036	△ 174	
物件費	7,235	7,236	△ 1	
税金	1,034	1,071	△ 37	
実質業務純益	2,858	3,283	△ 425	3,000
コア業務純益	2,990	3,737	△ 747	3,000
除く投資信託解約損益	2,358	3,581	△ 1,223	
一般貸倒引当金繰入額 I	△ 352	—	△ 352	
業務純益	3,211	3,283	△ 72	
臨時損益	△ 127	819	△ 946	
うち株式等関係損益	855	508	347	
うち不良債権処理額 II	652	50	602	
うち貸倒引当金戻入益 III	—	788	△ 788	
(与信費用 I + II - III)	299	△ 738	1,037	
経常利益	3,082	4,103	△ 1,021	4,300
特別損益	△ 147	△ 249	102	
うち減損損失	84	81	3	
税引前四半期純利益	2,935	3,853	△ 918	
法人税等	568	923	△ 355	
四半期純利益	2,366	2,930	△ 564	3,000

(注) コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益

(2) 金融再生法開示債権（単体）

◎金融再生法ベースの開示債権額は、2019年9月末比2億円増加して181億円となりました。

	2019年12月末		2019年9月末
		2019年9月末比	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	34	0	34
危険債権	121	3	118
要管理債権	27	0	27
小計 (A)	181	2	179
正常債権	17,717	167	17,550
合計 (B)	17,898	168	17,730
開示債権比率 (A) / (B)	1.01%	0.00%	1.01%

(注) 1. 記載金額は単位未満を四捨五入して表示しております。
2. 上記計数は、部分直接償却相当額を直接減額した後の残高を記載しております。

(3) 時価のある有価証券の評価差額（単体）

◎その他有価証券の評価差額は、2019年9月末比△26億円減少して245億円の評価益となりました。

	(単位：億円)				(参考) (単位：億円)			
	2019年12月末				2019年9月末			
	時価	評価差額	うち益	うち損	時価	評価差額	うち益	うち損
その他有価証券	6,593	245	263	17	6,767	271	290	19
株式	204	72	80	7	199	65	73	8
債券	4,672	101	106	5	4,885	137	139	1
その他	1,716	71	75	4	1,682	68	77	9

(注) 満期保有目的の債券に係る含み損益は以下のとおりであります。また、子会社・関連会社株式で時価のあるものは該当ありません。

	(単位：億円)				(参考) (単位：億円)			
	2019年12月末				2019年9月末			
	帳簿価額	含み損益	うち益	うち損	帳簿価額	含み損益	うち益	うち損
満期保有目的の債券	1,861	2	4	1	1,802	10	10	0

(4) 自己資本比率（国内基準）

2019年12月末の自己資本比率（国内基準）については現在算出中であり、確定次第、別途開示する予定であります。

（5）預金、貸出金等の残高（単体）

◎預金等残高は、個人預金や法人預金の増加等により、前年同月末比491億円（+1.8%）増加し、2兆6,513億円となりました。一方預り資産残高は、投資信託や公共債が減少したものの、個人年金保険等が順調に推移したことから、前年同月末比34億円（+1.3%）増加し、2,543億円となりました。
 ◎貸出金残高は、公共貸出等が減少したものの、個人ローンが順調に推移したことから、前年同月末比202億円（+1.1%）増加し、1兆7,561億円となりました。

① 預金・貸出金の残高

	（単位：億円）		（参考）	（単位：億円）	
	2019年12月末	前年同月末比		2019年9月末	2018年12月末
預金等（未残）	26,513	491	26,220	26,022	
うち個人預金	17,277	368	16,864	16,909	
うち法人預金	6,012	211	5,852	5,801	
貸出金（未残）	17,561	202	17,388	17,359	
一般貸出	7,531	△40	7,317	7,571	
個人ローン	4,628	312	4,575	4,316	
公共貸出	5,401	△70	5,495	5,471	

（注）預金等＝預金＋譲渡性預金

② 預り資産の残高

	（単位：億円）		（参考）	（単位：億円）	
	2019年12月末	前年同月末比		2019年9月末	2018年12月末
投資信託	617	△2	631	619	
公共債	269	△21	274	290	
個人年金保険等	1,656	56	1,656	1,600	
合計	2,543	34	2,561	2,509	

（※）個人年金保険等は有効契約残高で計上しております。

以上